



20周年記念号

発行日/平成27年12月6日(第74号)
 発行者/江別市生涯学習推進協議会
 編集/広報委員会
 連絡先/江別市教育委員会生涯学習課 〒067-0074 高砂町24-6
 電話 011-381-1062 FAX 011-382-3434
 HPアドレス http://www.e-lalala.org/

江別市文化協会50年のあゆみ

理事長 森山 庸美

市内の文化サークル18団体が集い、昭和41年に創設した江別市文化協会が設立から半世紀を迎えた今年9月、お蔭様で記念式典を挙げる事ができました。事業として編纂した50年記念誌は、新たな50年活動への方向性を示す序章でもあり、わけでも4者(市長、議長、教育長、文化協会)による文化振興座談会は、今後江別市が文化活動を進展させる方向性や文教科都市江別に相応しいパートナー、要因などについて、有意義な議論となりました。

創設時の18団体のうち、6団体が現在も中核メンバーとして健在なのは何とも頼もしい限りであり、式典に合わせて第6回総合芸術フェスティバルを開催する事にしたのも、多くの市民に親しまれ鑑賞される文化活動は、弛まぬ練習・継続性の上に成り立っている、そして世代継承される姿を理解して頂きたいと考えたからでもあります。

現在は、115団体2650名を擁するマンモス団体となりましたが、その活動内容は多岐にわたります。例えば舞台部門では、合唱、洋楽器、洋舞、詩吟剣詩舞、民謡、曲、大正琴、ジャズ、ロック、口舞、神楽郷土芸能、演劇、子

ども文化等のブロックに分かれ、各ブロックはそれぞれ個別に日程を組み発表会を開催しています。その集大成版として、各分野がまとまった形で鑑賞してもらうことにより、楽しみ、そして会員増強ができるのではとの思いから、総合芸術フェスティバルを企画しています。また、展示部門・生活部門・文芸部門等においても、コラボによる集約・統合や、積極的にICTを導入するなど、様々な工夫を凝らしながら運営し、相乗効果を期待しています。

さて、今後、2020年の東京オリンピックに向けて、文化芸術振興政策に拍車がかかりそうなが配がします。即ち全国的な文化振興知恵比べ時代となり、行政の優劣が、文化力活用と文化を基軸とする総合政策へとシフトされるに違いないでしょう。



これからのイベント

- ◆江別生涯学習インストラクターの会
○親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい
日時/2016年1月30日(土)
10:30~11:30
場所/野幌公民館
- ◆江別演劇鑑賞会
○リリック
+幹の会「王女メディア」
平幹二郎が王女メディアを熱演!
日時/2016年2月22日(月)
18:30開演
場所/市民会館大ホール

生涯学習リレー講座

『江別の歴史〜江別まちづくりのフロントライン』を受講して

江別市生涯学習推進協議会 江畑 稔

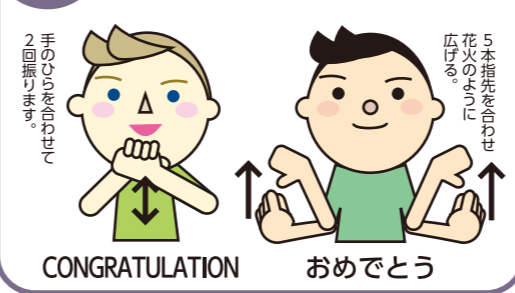
江別市生涯学習推進協議会が主催する「生涯学習リレー講座」は、今年度も3回にわたって開催した。今年度の生涯学習リレー講座は、毎回100人前後の受講者にご来場いただき、日本近代の幕開けとなった戊辰戦争後の、北辺の守りと北海道開拓の主力を担ったものとして、屯田兵の存在は大きな比重を占めていたという事が、改めて理解できた講座だったと思います。

屯田兵村の一日は、最初の6ヶ月間は毎日新兵訓練です。午前4時起床、晩は18時解散で、その後は月3回の終日訓練、春秋の合同訓練、他に当番兵勤務と、軍務に多忙を極めた事が予想されます。

そうなるのと、開墾の担い手は女子供に託されます。まさに講師も指摘していたように、名もなき民衆の手によって、北海道の農業の基盤が築かれた...と言っても過言ではないでしょう。更に屯田兵は、西南戦争、日露戦争に召集され、多くの戦死者を出すという時代のうねりに翻弄されながらも、学校教育、共有財産の寄贈等、今日の市民生活へと続く道筋を作った人達として、改めて頭の下がる思いばかりです。



What? アメリカの手話 & 日本の手話



《編集後記》

広報委員長 西懸 昭子

皆さんは20年問いかがお過ごしでしたか?当協議会では20周年記念事業を実施するにあたり、昨年の11月に実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。そして感謝と敬愛を持ってこの20年間を振り返り、会員皆さんと一緒に記念号の発行を迎えることができました。この出会いを大切に、また一歩一歩生涯かけて続けていけますように。

20年の歴史に感謝!「苦悩を通して歓喜!」

江別市生涯学習推進協議会 会長 谷川 幸雄



1995年3月26日に江別市生涯学習推進協議会を発足して、今年で20年を迎えました。初代会長・伊藤貞氏を中心に、夢と希望を持って創設への道を歩み続けて20年。当初の目的は、「市民の主体性に基づいて学習活動を活性化し、本市における生涯学習の振興を図るため、必要な事業を行い、もって市民の豊かな生活と生きがいを高めていく」でした。この目的は、江別市の20年、50年を見据えた将来像を考えて策

定されたことがわかります。1965年、成人教育運動に力を入れた人、ポール・ミンクランが、「社会教育の新しい動向」の論文中で、「生涯学習」という概念を世界に広めました。1981年の中央審議会「生涯学習」答申発表、1992年の生涯学習審議会「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」答申発表があり、まもなく江別市は国の施策に呼応して、1995年の3月に当協議会を発足しました。

思います。歴史は人がつくり、人はその歴史によって育てられると申しますが、発足してから今日まで、当協議会の充実・発展に取り組んでこられた教育委員会、理事会、加盟団体、市民関係機関の皆様が、心を合わせ、知恵を出し合い、そして力を結集して取り組んできた労苦に対して感謝と敬愛の心を持って、20年の節目を「20周年感謝年」として、今年度のすべての行事に冠を掛け、心を込めて実施してまいります。今後当協議会に対し、限りない愛情とご支援をお願い申し上げます。

| 江別市生涯学習推進協議会20年のあゆみ | | |
|---------------------|---|-------|
| 年度 | 出来事 | 加盟団体数 |
| H7 | ●江別市生涯学習推進協議会が設立 ●初代会長・伊藤貞氏のもとで、協議会としての活動がスタート ●全5回シリーズで講座を開催する生涯学習講座がスタート(~12年度) ●生涯学習フェスティバルえべつがスタート(~12年度) ●生涯学習見本市(開催地:札幌)に出展 | 81 |
| H8 | ●生涯学習推進研修会I・IIが開催 ●江別市生涯学習ガイドブックを発行(その後No.8まで発行) | 79 |
| H9 | ●安宅嘉美氏が二代目会長に就任 ●初の役員改選が行われる | 79 |
| H10 | ●「写真集・働く人びと」発刊 | 79 |
| H11 | ●会費徴収制を導入 ●生涯学習フェスティバルえべつとして、国際交流弁論大会を開催 | 82 |
| H12 | — | 78 |
| H13 | ●生涯学習フォーラムがスタート(~15年度) | 73 |
| H14 | ●協議会のホームページが開設 | 68 |
| H15 | ●谷川幸雄氏が三代目会長に就任 | 67 |
| H16 | ●会員活動発表会・交流会がスタート(~24年度) ●支援事業がスタート | 68 |
| H17 | ●生涯学習リレー講座がスタート ●鎌倉市で視察調査を実施(後の調査・研究事業。毎年視察先を変え、25年度まで実施。) | 67 |
| H18 | — | 68 |
| H19 | — | 68 |
| H20 | — | 66 |
| H21 | ●ら・ら・ら第50号発刊 ●秋の自然観察会がスタート(~23年度) | 70 |
| H22 | — | 68 |
| H23 | — | 68 |
| H24 | ●加盟団体研修会がスタート ●会員活動発表会・交流会の名称を生涯学習フェスティバルへと変更 | 68 |
| H25 | — | 67 |
| H26 | — | 66 |
| H27 | ●20周年記念事業として、20周年記念講演の開催や、「ら・ら・ら」記念号の発行などを行う | 70 |

*加盟団体数は年度当初の数を記載

江別市生涯学習推進協議会20年のあゆみ

平成7年度



○設立総会

各分野から83団体の関係者が出席し設立総会が開催。初代会長に伊藤貞氏が選出され、協議会としての活動がスタート。

○生涯学習講座

- 【テーマ】日本及び日本人論
 - 第一回／日本・ドイツのからくり恐竜たち
 - 講師／北海道医療大学教授 ヒルガー・コンラート氏
 - 第二回／今のポーランドと今の日本
 - 講師／NHK文化センター 三浦エミリア氏
 - 第三回／在日外国人と日本の国際化
 - 講師／作家 朴重鶴氏
 - 第四回／国際交流まつらおもて
 - 講師／北海道知事室国際交流課参事 高橋寿氏
 - 第五回／社会の期待・スウェーデンと日本
 - 講師／財スウェーデン交流センタープロジェクトリーダー ヘレナ・ビュルクマン氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

市内の団体の活動を発表する場を設けたほか、NHKのテレビ番組の公開録画も行われた。

○生涯学習見本市(全国生涯学習フェスティバル)

札幌で開催された生涯学習見本市に、「縄文からの発進―街とやきもの」のテーマで出展。

平成8年度

○生涯学習講座

- 【テーマ】自然環境と市民生活
 - 第一回／自然からの伝言―都市と人と緑―
 - 講師／北海道大学地球環境研究所教授 小野有五氏
 - 第二回／新しい流域の思想―治水と自然環境の保全―
 - 講師／旭川大学経済学部講師 浅田英祺氏

平成11年度

○総会

役員改選が行われるとともに、会費徴収に関する規約の改正が行われ、会費徴収制が始まった。

○生涯学習講座

- 【テーマ】ふるさと学・美しいまち好きなまち
 - 第一回／サケのふるさと人のふるさと
 - 講師／千歳サケのふるさと館前館長 木村義氏
 - 第二回／北には赤煉瓦がよく似合う
 - 講師／北海道女子大学短期大学部 水野信太郎氏
 - 第三回／森と都市生活
 - 講師／映画作家 藤本幸久氏
 - 第四回／文化がまちを変えますか
 - 講師／北海学園大学工学部 森啓氏
 - 第五回／雪は嫌いですが好きですか
 - 講師／日本雪氷学会前会長 若濱五郎氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

「国際交流とまちづくり・私の提言」をテーマに「国際交流弁論大会」を開催。また、同大会に参加した14名の弁論を集録した「国際交流弁論大会集録」を発刊した。

○生涯学習ガイドブックNo.5を発行

市内で行われる全市民を対象としたイベントについての情報のほか、市内の生涯学習施設の案内や地図を掲載。

平成12年度

○生涯学習講座

- 【テーマ】地球の未来をおびやかすもの
 - 第一回／地球温暖化のもたらすもの
 - 講師／社日本氷雪学会会長 若濱五郎氏
 - 第二回／ひとり語り トキが減るトキ
 - 講師／劇団風の子北海道 本間整氏
 - 第三回／追われる・生き物たち



- 第三回／地球を支える生きもの
- 講師／北海道文理科短大 坂本与市氏
- 第四回／森と水と暮らし
- 講師／自然環境研究室主宰 鮫島惇一郎氏
- 第五回／都市の中の川こそよけれ
- 講師／北海道大学工学部助教 葦沢憲吉氏

○生涯学習推進研修会Ⅰ・Ⅱ

- Ⅰ①：生涯学習とは何か
- 講師／道立社会教育総合センター研修情報課長 秋山春雄氏
- Ⅰ②：適切な指導・援助を行うために
- 講師／道立社会教育総合センター学習相談員 三浦力弥氏
- Ⅱ：まちづくりと生涯学習
- 講師／北海道大学高等教育機能開発総合センター助教 授 木村純氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

- 【テーマ】アイヌ文化を学ぶ
- パフォーミング・アイヌ詩曲舞踊団
- 講習会／アイヌ文化伝承講習会くユカラからサラニアまで



○生涯学習ガイドブックNo.2を発行

生涯学習のこと、協議会のことを解説するガイドブックや、会員の紹介などを掲載。昨年度市教委で発行したガイドブックの続編にあたる。

平成9年度

○総会

役員任期満了に伴い初の役員改選が行われ、会長に安宅嘉美氏が就任。



○生涯学習講座

- 【テーマ】食の話・五味 五感 五題
 - 第一回／北国の食文化
 - 講師／北海道女子大学人間福祉学部教授 羽田野六男氏
 - 第二回／21世紀の食糧問題

○生涯学習フェスティバルえべつ

- 講師／北海道大学大学院地球環境科学研究科教授 小野有五氏
- 第四回／チエルノブイリへのかけはし
- 講師／チエルノブイリへのかけはし代表 野呂美加氏
- 第五回／急増する人口・減り続ける資源
- 講師／北海道大学農学部教授 三島徳三氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

キューバから「ロス・ナランホス」が来日し、えぼあホールでコンサートを開催。由緒正しい「ソン」を演奏し、場を盛り上げた。

○生涯学習ガイドブックNo.6を発行

市内の生涯学習施設を特集。



平成13年度

○第1回生涯学習フォーラム

【テーマ】こころの時代を問う

- 第一回／キレる社会の親子関係
- 講師／精神科医 渡部正行氏
- 第二回／遊びで育てる心とからだ
- 講師／第二天幼稚園園長 安藤陽子氏
- 第三回／生きることと芸術表現
- 講師／画家 伏木田光夫氏
- 第四回／精霊たちと音楽
- 講師／音楽家雑誌編集者 三上敏視氏
- 第五回／学ぶこと・育つこと
- 講師／生涯学習インストラクター 谷川幸雄氏



◇シンポジウム

- ◇基調講演／動物の心、人の心
- 講師／写真家・エッセイスト 竹田津美氏

- 講師／北海道大学農学部教授 三島徳三氏
- 第三回／日本人の国民食「カレー」の話
- 講師／アイディア料理研究家 星澤幸子氏
- 第四回／世界のチーズ・チーズの世界
- 講師／サッポロホテル総料理長 大滝末馬氏
- 第五回／健康な大地・健康な食物
- 講師／酪農学園大学農学部教授 松中照夫氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

【テーマ】えべつ・再発見

- ステージ／風のまちのエチュード
- 展示／市民公募展「街なみ&街角おもしろ写真展」

平成10年度

○生涯学習講座

- 【テーマ】アジアと日本
 - 第一回／国際貢献とアジアの発展
 - 講師／北海道大学文学部教授 梶原景昭氏
 - 第二回／民衆運動にみるアジアとの連帯
 - 講師／空知民衆史講座事務局長 殿平善彦氏
 - 第三回／アジア経済と外国人労働者
 - 講師／北海道大学経済学部教授 宮本謙介氏
 - 第四回／マスコミとアジア報道
 - 講師／札幌学院大学名誉教授 本間富雄氏
 - 第五回／アジアの世紀と日本
 - 講師／北海道教育大学札幌校助教 袁克勤氏

○生涯学習フェスティバルえべつ

【テーマ】ふるさとの写真&土器展「働く人びと」

- ☆屯田資料館、野幌公民館、郷土資料館、大麻公民館の市内四会場で、明治～昭和30年代の労働にスポットを当て、写真展を開催。

○生涯学習ガイドブックNo.4を発行

昨年度と同様に市内の学習団体や施設について掲載するほか、各分野の指導者の情報も掲載。

◇パネルディスカッション「こころの時代を問う」

- パネラー／渡部正行氏、安藤陽子氏、伏木田光夫氏、
- コーディネーター／谷川幸雄氏

○生涯学習ガイドブックNo.7を発行

市内での生涯学習活動の例を掲載するなど、生涯学習の大切さ・楽しさを伝える内容を多く掲載。

平成14年度

○第2回生涯学習フォーラム

【テーマ】こころの時代を問うⅡ

- 第一回／思春期のこころ―小児精神科医の立場から―
- 講師／北海道こども心療内科院長 氏家武氏
- 第二回／夢・可能性を見出すために
- 講師／俳優・テレビキャスター 金田仁志氏
- 第三回／児童虐待は増えているか
- 講師／北海道中央児童相談所指導援助課長 長野正稔氏
- 第四回／性と麻薬
- 講師／江別警察署生活安全課長 田村隆氏

◇シンポジウム

- 公演①／絵本の読み聞かせ「おはなしパネル
- 出演／おはなしなあに
- 公演②／朗読
- 出演／朗読の会 松村美智子氏
- 講演／子どもの本が伝えてきたこと―アンデルセンがかけた橋―
- 講師／児童文学作家・藤女子大学講師 柴村紀代氏

○協議会のホームページが完成

これまでガイドブックを発行し、生涯学習団体や指導者の紹介を行っていたが、掲載情報を常に最新のものに保つため、ホームページでの公開に移ることにした。

平成15年度

役員改選が行われ、会長に谷川幸雄氏が就任。総会終了後には、会員の交流を深めるために会員交流会が開かれた。



○総会

○第3回生涯学習フォーラム

- 【テーマ】この時代を問うⅢ「食」という視点から
第一回/心と体を育む食生活〜食育のすすめ〜
講師/天使大学講師 根本和雄氏
第二回/今こそ食育を！食事は心の栄養〜給食を子どもに生きる力につなげる〜
講師/江別保健所管内栄養士会栄養士 菊地恵美子氏
第三回/消費者から見たおさかな
講師/酪農学園大学教授 細川允史氏
第四回/人間の港〜心の成長と食をめぐって〜
講師/教育評論家 松尾つよし氏
【シンポジウム】
☆基調講演/シエフからのメッセージ〜素材がテーブルに並びま〜
講師/レストランパストールオーナーシエフ 向瀬肇氏
☆対談/杉本栄一氏、鶴見照子氏、奈良幸則氏、山本宏氏、米村千代子氏

平成16年度

○総会

会員の活動紹介や生涯学習情報をきめ細かく発信するため、「ら・ら・ら」のポリウムを小さくし、その分発行回数を増やすこととした。

○マネープラン講習会

- テーマ/年金改革とよりよい生活設計
講師/日本ファイナンシャルプランナーズ協会常任理事 白根壽晴氏

平成20年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】石狩川と江別
第一回/石狩川とともに写真につづられた人々の記憶
講師/財団法人石狩川振興財団理事 沖富士男氏
第二回/石狩川周辺の生きものたち
講師/日本野鳥の会江別支部会員 武田忠義氏
第三回/本庄睦男「石狩川」〜自然のなかの人間像〜
講師/酪農学園大学教授 岩井洋氏
第四回/松浦武四郎と石狩川
講師/北海道開拓記念館事業部長 笹木義友氏
第五回/石狩川の生態系と食文化
講師/流域生態研究所所長 妹尾優二氏
☆これらの講座のほか、希望者を募り「弁天丸クルージング」も実施。

○会員活動発表会

茶話会形式を取り入れ、コーヒーやパンの販売も行うなど、より気軽に参加できる形とした。
【出演団体】大麻華道研究会、劇団「川」など

○視察調査

函館市を訪問し、函館市中央図書館等を視察した。

平成21年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】健康な食生活と江別の「食」を考える
第一回/生活習慣病を防ぐ食生活とは？〜あなたの腹囲はいくつですか〜



- 講師/江別保健所管内栄養士会会長 尾澤典子氏
第二回/目指そう健康・長寿〜最新の栄養学の話〜
講師/酪農学園大学教授 石井智美氏
第三回/江別の食と地産地消のススメ
講師/江別酒米栽培グループ「すいせい」代表 山本宏氏
第四回/栄養とメンタルヘルス〜食生活と心の健やかさ〜
講師/メンタルヘルス研究所メンタルヘルスカウンセラー 根本和雄氏
◇調理実習会「江別の食材を使って」
講師/江別保健所管内栄養士会会員 中村千恵子氏

○会員活動発表会

昨年度、総会の後に行っていた会員交流会を拡大し、独立したイベントとして開催。江別市芸能赤十字奉仕団、3B体操江別サークル、国際交流協会などが出演した。

平成17年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】知って得するシニアライフ〜自己責任の時代を生きぬくために〜
第一回/定年後の生活設計
講師/ファイナンシャルプランナー 友成昇氏
第二回/騙されてなるものか!!悪徳商法、詐欺の手口に学ぶ自己防衛策
講師/株セキユリ代表取締役 斉藤伸也氏
第三回/施設が在宅か、という問いを考える
講師/札幌学院大学人文学部専任講師 新田雅子氏

○会員活動発表会

【出演団体】江別保健所管内栄養士会おはなしなになど

○視察調査

鎌倉市を訪問し、生涯学習センター「きらら鎌倉」などを視察した。

平成18年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】郷土江別の歴史をまなぶ
第一回/先史時代の江別〜江別式土器文化を中心に〜
講師/江別市教育委員会生涯学習課参事 園部真幸氏
第二回/江別古墳群の謎
講師/札幌国際大学現代社会学部教授 関口明氏
第三回/近世から近代へ〜石狩改革とエトベツ〜
講師/北海道史研究協議会 君尹彦氏
第四回/北海道開拓と江別北越殖民社
講師/札幌学院大学人文学部教授 船津功氏
第五回/川物語(えべつ昭和史、抄)



指導協力/江別市食生活改善協議会

○会員活動発表会

【出演団体】江別認知症の人の家族を支える会、江別創造舎、高齢者クラブ連合会など

○視察調査

掛川市を訪問し、生涯学習センター等を視察した。

○秋の自然観察会

自然解説員の住吉光子氏、蕨沢ちよ氏の案内により、野幌森林公園の動植物の生態を観察した。



平成22年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】今、教育の危機を考える
第一回/教育の諸問題を考える
講師/北海道教育庁学校教育局高校教育課主査 河原範毅氏
第二回/不登校の子どもの理解と支援を考える
講師/北海道学校教育相談研究会顧問・スクールカウンセラー 谷川幸雄氏
第三回/子ども心に傷を残す「いじめ」の問題を考える
講師/北海道立教育研究所研究・相談部主査 佐々井利兼氏
第四回/児童虐待を考える
講師/北海道中央児童相談所次長 梶原敦氏
第五回/子どもの病を考える
講師/江別市立病院院長 梶井直文氏

○会員活動発表会

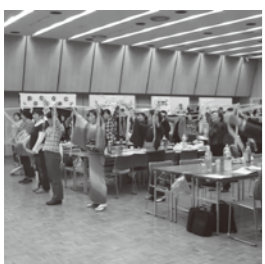
【出演団体】江別芸能赤十字奉仕団、札幌学院大学など

○視察調査

釧路市を訪問し、生涯学習センター等を視察した。

○秋の自然観察会

野幌森林公園を散策。



講師/ユベオツ書房・北海道みんぞく文化研究会 藤倉徹夫氏

☆全講座終了後には、5回シリーズの内容をまとめた「生涯学習リレー講座収録集」を発行した。

○会員活動発表会

【出演団体】江別市国際交流協会、野幌商店街振興組合など

○生涯学習ガイドブックNo.8

を発行
加盟団体の活動内容の紹介などを掲載した。



平成19年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】再発見！野幌森林公園
第一回/「野幌原始林」の自然と歴史をたずねて
講師/札幌学院大学教授 奥谷浩氏
第二回/野幌原始林と新野幌の戦後緊急開拓史
講師/札幌市文化資料室新札幌市史編集員 西田秀子氏
第三回/江別のまちおこし(地域再生) II『日本の環境首都を目指して』シンボルとしての野幌原始林
講師/札幌学院大学大学院教授 太田清澄氏
第四回/野幌森林公園の生き物たち
講師/酪農学園大学教授 村野紀雄氏
第五回/自然観察会
内容/自然ガイドの皆さんの案内で野幌森林公園を散策し、森に住む動植物の生態などを観察。

○会員活動発表会

【出演団体】北翔大学、銭五厘の会など

○視察調査

八王子市を訪問し、市職員から「八王子生涯学習プラザ」の説明を受けたほか、八王子生涯学習センター、八王子市民活動支援センターを視察した。

平成23年度

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】もう一度、教育の原点を見つめよう〜子育てとコミュニケーション〜
第一回/現代教育の現状と課題
講師/ふるさと再生塾塾長 小山忠弘氏
第二回/乳幼児が初めて出会う本が絵本
講師/篠宮裕子氏
第三回/いじめや不登校の起因とその対策
講師/札幌学院大学教授 市川啓子氏
第四回/現代の子どもの特徴とその背景・対策
講師/生涯学習インストラクター 谷川幸雄氏
第五回/ワークショップ「あなたの意見が江別の教育を変えよう！」
協力/北海道高等聾学校教員 二階堂洋子氏

○会員活動発表会

【出演団体】江別家庭生活カウンセラーグループ、3B体操江別サークル、江別手をつなぐ育成会など

○視察調査

恵庭市を訪問し、恵庭市生涯学習推進協議会について学びとともに、建設中の黄金ふれあい交流センターを視察。

平成24年度

○総会

会員活動発表会を「生涯学習フェスティバル」に改名することを決定。

○生涯学習リレー講座

- 【テーマ】地域と共に行う子育て〜地域の子どもは地域で育てる〜に視点をおく〜
第一回/「おやじの会」を通しての社会参加
講師/大麻東小学校PTA会長 石田武史氏
第二回/子どもは学校で学び、家庭で育ち、地域で伸びる
講師/江別市教育委員会学校教育支援室学校教育課学校支援地域本部コーディネーター 平本重徳氏

第三回／子どもたちに「土曜広場」をく経験を力に出会いを活動源に

講師／えべつ土曜広場推進委員会事務局長 丸藤京子氏

【加盟団体研修会】
【テーマ】生涯学習のこれまでとこれから
講師／ふるさと再生塾塾長 小山忠弘氏

【生涯学習フェスティバル】
【出演団体】MOA美術文化サークル、江別まっこことええ&北海道情報大学、江別市聚楽学園など

○視察調査
若見沢市を訪問し、市教育委員会職員による説明を受けたほか、建設中の生涯学習センターの視察を行った。

平成25年度

○生涯学習リーダー講座
【テーマ】長寿社会と地域のきずな

第一回／長寿社会と男女共同参画
講師／北海道立女性プラザ館長 笹谷春美氏

第二回／長寿社会に備えた町づくり
講師／沼田町長 金平嘉則氏

第三回／長寿社会の今を生きる
講師／江別市自治会連絡協議会副会長 野幌地区自治会連絡協議会会長 阿部実氏

○加盟団体研修会

【テーマ】地域活動におけるリーダーの在り方
基調講演／江別市生涯学習推進協議会会長 谷川幸雄氏
シンポジウム／阿部実氏、佐藤功氏、笹川幸男、宮本浩治氏によるパネルディスカッション。

○生涯学習フェスティバル
【出演団体】子ども文化ネットワーク
フ・江別、D・魂(だんすたましい)、江別市女性団体協議会など



平成26年度

○生涯学習リーダー講座
【テーマ】よりよくフレバーに生きるには

第一回／最新の事例から知る悪質商法の現状
講師／江別消費者協会消費生活相談員 中井悦子氏

第二回／暮らしに役立つ知ったく情報
講師／NPO法人北海道未来ネット代表理事 横江光良氏

第三回／高めの脂質とロコモティブシンドロームにご用心
講師／江別市保健センター保健師 谷口しのぶ氏

○加盟団体研修会

【テーマ】地域活動におけるリーダーの在り方
講師／江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会加工部会長 岡村恵子氏、大麻にパークゴルフコースを手づくりする会(あじさい会)会長・NPO法人あじさい亭会長 船戸實氏

○生涯学習フェスティバル
【出演団体】江別市食生活改善協議会、江別消費者協会、NPO法人さいわい成年後見センターなど

| 江別市生涯学習推進協議会 会員名簿 | |
|-------------------|---|
| 区分 | 団体名 |
| 教育関係 | 札幌学院大学 北翔大学 北海道大麻高等学校父母と教師の会 江別市PTA連合会 江別市小中学校長会 江別市子ども会育成連絡協議会 江別市青少年のための市民会議 江別モラロジー事務所 江別市家庭問題研究会 江別市PTA後援会 江別生涯学習インストラクターの会 江別子ども劇場 |
| 芸術・文化関係 | NPO法人江別市文化協会 劇団「川」 江別美術協会 MOA美術文化サークル 江別短歌会 江別市菊友会 大麻華道研究会 表千家流茶道上村社中 清池会江別支部 日本民謡尺八道小路流江別竹豊会(社)日本詩吟学院岳風会江別支部 江別まっこことええ&北海道情報大学 江別創造舎 江別演劇鑑賞会 旺華流旺吟会 池坊いけばな はまなす会 メディネット江別 |
| スポーツ関係 | (一財)江別市スポーツ振興財団 江別市体育協会 江別市スポーツ少年団 大麻スポーツ振興会 3B体操江別サークル 江別ヒップホップダンススクールD'魂 |
| ボランティア関係 | おはなしなあに 江別認知症の人の家族を支える会 江別家庭生活カウンセラーグループ 江別市赤十字奉仕団 江別芸能赤十字奉仕団 子ども文化ネットワーク・江別 えべつ手話の会 えべつ市民活動団体 江北まちづくり会 |
| 自治福祉関係 | 江別市自治会連絡協議会 江別地区自治会連絡協議会 野幌地区自治会連絡協議会 (社福)江別市社会福祉協議会 江別市民生委員児童委員連絡協議会 江別市高齢者クラブ連合会 江別更生保護女性会 (一社)江別市母子会 江別手をつなぐ育成会 NPO法人さいわい成年後見センター |
| 市民生活・国際交流関係 | 江別市民憲章推進協議会 (一社)江別医師会 江別市食生活改善協議会 江別保健所管内栄養士会 江別消費者協会 江別防犯協会 江別市女性団体協議会 (一社)江別青年会議所 江別ライオンズクラブ 江別ユネスコ協会 江別日中友好の会 NPO法人えべつ協働ねっとわーく |
| 商工業関係 | 野幌産業振興協会 江別建設業協会 野幌商店街振興組合 (株)北海道情報技術研究所 |

20周年にあたって...

江別市生涯学習推進協議会 創立20周年を祝い

江別市子ども会育成連絡協議会 会長 洞野 博文

当協議会が創立20周年を迎えられる事に、心よりの喜びとお祝いを申し上げます。

平成7年発足時には江別青年会議所よりチャーター会員として、伊藤貢会長(当時の教育長)のもとでは理事として、また、安宅会長(谷川会長へと引き継がれた後、私は現在、市子ども会育成連絡協議会より、再び理事として携わらせて頂いて居ります。

伊藤会長は、私の中学生時代の校長として、安宅会長は、子どもの会の前任会長、また青年会議所の先輩として私を引き立ててくださいました。そんな縁で当協議会に所属させて頂き、谷川会長からもご指導を頂いて居ります。

私にとって当協議会は、良き先輩方より様々な経験を学び、場として会員との交流の場として活用させて頂いて居ります。

会員それぞれの団体が様々な社会参画・貢献をされながら、自分の生涯を楽しく、人の支えにな



江別市生涯学習推進協議会 20周年記念によせて

江別市生涯学習推進協議会 前副会長 澤口 智規

平成13年度より昨年末まで、会長、当協議会理事、及び江別市担当職員など、多くの方々を支えて

頂き、当協議会で多くの事を勉強させて頂きました。当初は江別市PTA連合会の代表として、その後は専門学校の教員として関わり、当協議会で学んだことをPTAや専門学校で実践させて頂きました。

私が加わった当時は、この「ら・ら・ら」と年に1度の講演会、リーダー講座が活動の中心であり、膠着した協議会の今後の方向性を模索している時期でもありました。その結果、現在の市民向けの活動や、会員相互理解を深める会員活動発表会・生涯学習フェスティバルなどが新たに加えられる、現在の会員相互の顔が見える協議会になりました。

さて、20周年を迎え、協議会はまた新たな形としての進化が必要なのかもしれません。個人的な考えですが、常設の活動拠点が必要なの時期なように感じます。元気な高齢者の学びの場、子育て世代やその子どものサポート、また会員活動の場として、江別市や公民館では難しい、市民と協議会会員が協力し生涯学習で



きる場が必要になってきているのではないかと感じています。最後になります。が、節目の機会に寄稿させて頂き感謝申し上げます。

また、江別市生涯学習推進協議会の今後益々の盛んな活動をご祈念申し上げます。

生涯学習と私

NPO法人えべつ協働ねっとわーく 古川 淳子

私にとって「生涯学習」とは何を以て言えるのだろうかと考えた時、今までで学校で学んできたこと、社会に出てきてから周りの方たちに教えられたこと、全てのことから自分にとっては教育の場であり、学習の場であったと思えます。生涯学習は、生まれてから死ぬまでの全生涯にわたって学習をしていくという考えに基づいていると聞いています。今現在、目に触れるもの、手にとって見るもの、全てが学習に繋がっているのだなあと考えると、小さなことでも大切に思えてきます。

学生時代には、年を取ったら読み残している本を読もう、特に古典に類するものは老後の楽しみ



「ら・ら・ら」の前身である「えべつ生涯学習だより」創刊号の発行から20年がたちました。

いつまでも好奇心を旺盛にして気力を保つていくのが、生涯学習へ繋がる道ではないだろうかと思えます。

